

※今回、情報の追加・更新があったものには **NEW** のマークがついています

あ

アイ ピー ピー (IPP:Independent Power Producer)

★電力卸供給事業

当社は、四日市製油所隣接地区にて20万Kwの発電所を建設。2003年7月より中部電力向けに供給中。

IPIC

★International Petroleum Investment Company

1984年設立。アブダビ首長国政府が100%出資するエネルギー関連投資会社。

長期スパンでアブダビ首長国外の石油・ガス分野等への投資を行っている。当社の第三者割当増資を引き受け、増資後約20%の当社株式を所有。

アラ (ALA)

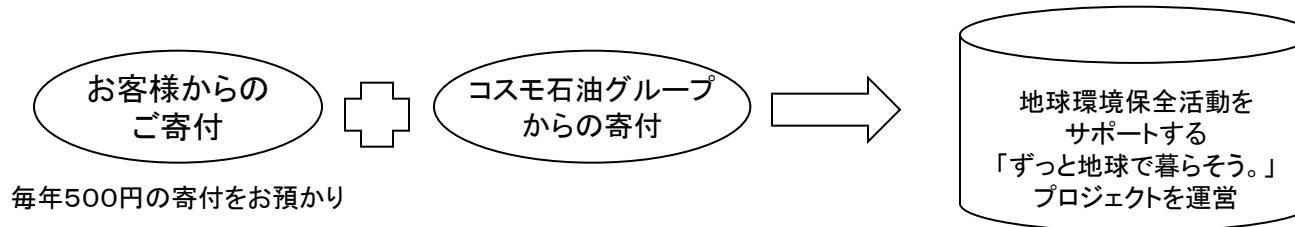
★5-アミノレブリン酸のこと。

天然の貴重なアミノ酸であり、生体内では葉緑素(クロロフィル)や血液中のヘムの原料として重要な役割を果たしている。植物の成長促進効果を始め、ガンの光動力的治療で使用されるほか、豚の貧血防止や魚の耐病性向上効果など、医薬動薬・飼料分野でも応用が期待されており、将来ALAは主要なアミノ酸に匹敵する巨大市場に育つものと期待される。当社はALAの安価な製造法を確立し、肥料・飼料分野、化粧品、健康食品、医薬品分野等さまざまな分野向けに供給すると共に、提携企業と共にこれらの分野での用途開発・販売にも参画している。

エコカード

★コスモ・ザ・カード・オーパス、コスモ・ザ・カード・ハウスの機能に加え、「環境保全参加」の機会を会員様に提供するカード。コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」のこと。

★コスモ・ザ・カードのターゲットに加え、環境意識の高いお客様を獲得するのが目的。



※上記のほか、会員のお客様には、環境保全活動や寄付金の使途を報告するコスモ石油エコカード基金活動報告書を送付。

エコパワー株式会社

★2010年3月、株式会社荏原製作所から風力発電事業を営む子会社、エコ・パワー株式会社(以下エコ・パワー)の全株式(荏原製作所保有分の98.8%)を取得。エコ・パワーは風況のよい東北・北海道を中心に風力発電設備を所有。コスモ石油は2004年から山形県酒田市で「コスモ石油酒田風力発電所(1,500キロワット)」の営業運転を行ってきた。

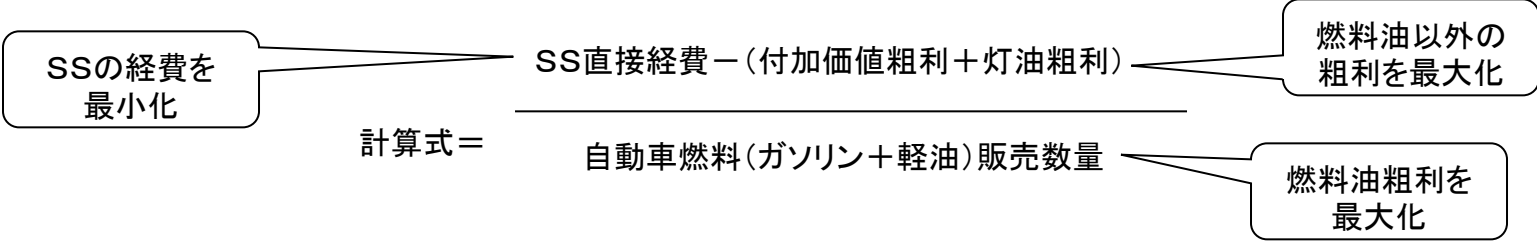
＜エコ・パワーの概要＞ (2013年度末)

- ・発電サイト数 29サイト
- ・設備基数 128基
- ・総発電能力 145,810キロワット

※エコパワー ホームページサイト(発電所一覧) http://www.eco-power.co.jp/hatudensho_ichiran.html

エス エス ナビ(SS NV)指数

- ★特約店がSSの体質強化(低マージン下でも利益を上げられる体質づくり)するための指数のこと。
- ★SSの経費を最小化し、同時に付加価値粗利(車検、オイル交換、洗車、タイヤ・バッテリー・アクセサリ販売などでの粗利)及び、ガソリン・軽油販売を最大化する方向性を把握させる目的。
- ★指数は小さければ小さいほど(マイナスもありうる)、強いSSであると言える。



エネルギー供給構造高度化法

- ★エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律。
- 電気やガス、石油事業者といったエネルギー供給事業者に対して、太陽光、風力等の再生可能エネルギー源、原子力等の非化石エネルギー源の利用や化石エネルギー原料の有効な利用を促進するために必要な措置を講じる法律。

(出所: 経済産業省 資源エネルギー庁)

エフ(F)指数

- ★特約店がSSを管理(コスト意識)するための指数のこと。
- ★人件費に対する付加価値粗利(車検、オイル交換、洗車、タイヤ・バッテリー・アクセサリ販売等での粗利)割合を把握し、コスト意識を高める目的。
- ★指数は大きければ大きいほど、付加価値販売に強いSSと言える。

$$\text{計算式} = \frac{\text{付加価値粗利}}{\text{人件費}} \times 100$$

- 例) F指数 100%.....>付加価値利益を人件費が相殺
- F指数 120%.....>人件費を上回る付加価値販売 =強いSSであるといえる。

エフ・シー・シー(FCC: Fluid Catalytic Cracking Unit)

- ★流動接触分解装置のこと。
- ★いわゆる二次装置のことであり、軽質留分(主にガソリン留分)をより多く生産するための設備。

エー・ピー・アイ(API)

- ★米国石油協会(American Petroleum Institute)によって定められた原油の密度を示す尺度。API度の数値が大きいほど、より軽質で付加価値の高い白油留分(ガソリン・灯油・ジェット燃料・軽油)が多く取れることを示し、原油価格も割高となっている。



カーケア商品

- ★車検、修理、オイル交換、洗車、タイヤ・バッテリー・アクセサリ・パーツなど車周りの商品およびサービス。
＝付加価値商品

原単位、SS原単位

- ★1SSあたりの1ヶ月の自動車用燃料油販売量のこと。

コーカー(重質油分解装置)

- ★堺製油所において新設された装置(設備投資額:約1,000億円、運転開始:2010年度)。コーカーと合わせて「分解油水添脱硫装置」も新設。当該装置群によりアスファルト留分を原料にナフサ、ジェット燃料、軽油を生産する。原油の重質化(重軽格差の活用＝相対的に安い重質原油を投入しつつ、従来通りの白油得率を維持)による原料コストの削減や、重油から中間留分への生産スイング(白黒格差の活用＝より付加価値の高い白油得率の向上)により国内の需要構造の変化に対応するとともに、精製マージンの拡大などにより、収益性の向上が期待される。

<設備の概要>

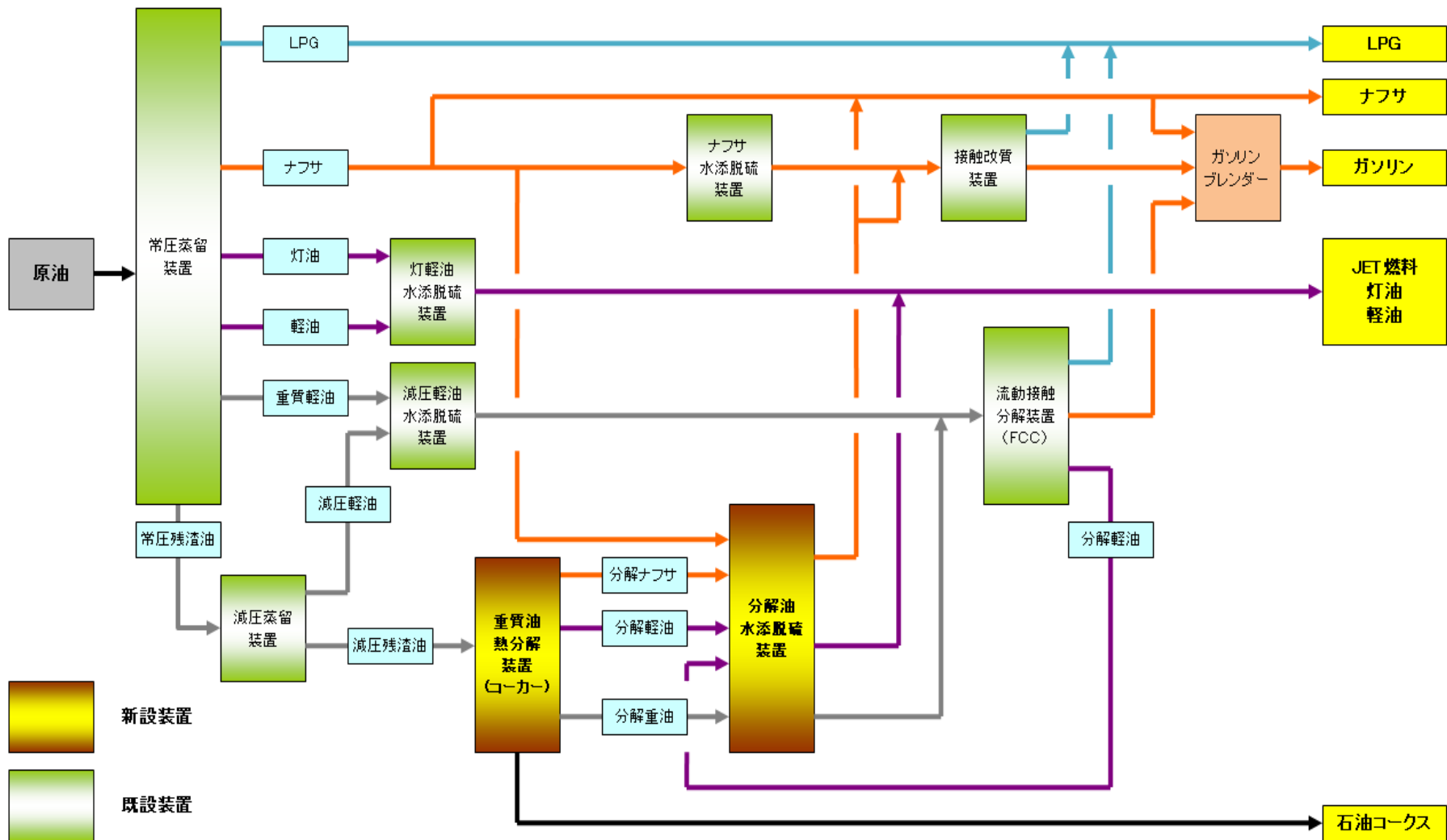
- | | |
|-------------------|---------------|
| (1) コーカー(重質油分解装置) | 処理能力 29,000BD |
| (2) 分解油水添脱硫装置 | 処理能力 42,000BD |

<生産能力の概要>

ナフサ:25万KL/年、ジェット燃料:70万KL/年、軽油:35万KL/年、石油コークス:40万t/年

コーカー<装置図>

精製工程



コスモ・ザ・カード・オーパス

★2006年6月より、イオンクレジットサービス(株)との提携カード「コスモ・ザ・カード・オーパス」を発行。

★年会費無料の国際ブランド(VISA Master Card, JCB)付きカードがラインナップに加わることにより、お客様の多様なニーズに対応。

コスモ・ザ・カード・ハウス

★コスモ石油が独自に運営する、コスモ系列SS限定のクレジットカードのこと。

★お客様、特約店(SS)、コスモ石油3者それぞれに大きなメリットがある

お客様 : 即時発券、キャッシュレスの支払い、プレゼントへの交換、(コスモ・ガソリンマイレージの項を参照ください)、キャッシング他、多くの特典がある。

SS : SSオープン時に積極的に発券することにより、お客様に継続的にご利用頂ける(必ずコスモのSSを選んで頂ける)しくみが出来る。

POSデータ活用でのマーケティングにより、SS体質強化、販売数量増につながる。

決済業務の軽減ができ、信販系カードに比べ安価な手数料である。

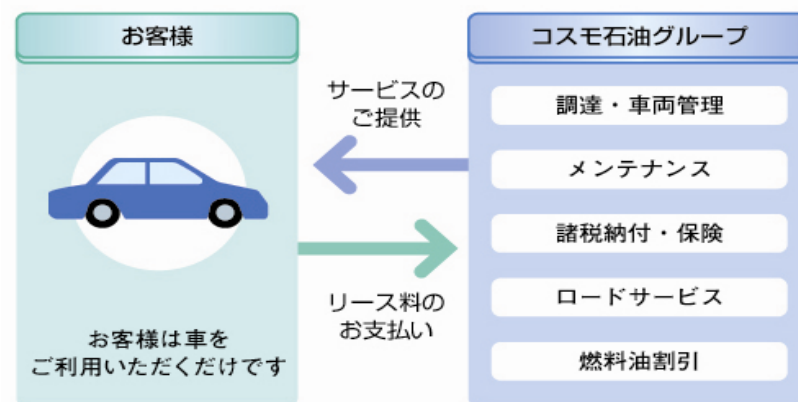
コスモ石油 : マーケティングツール、SS体質強化によって販売量アップ、カード手数料収入が期待できる。

コスモビークルリース

★当社グループで車の調達から車検・保険、給油の割引など車周りのサービスを提供し、お客様は月々一定のリース料をお支払いいただく仕組み。

★燃料油の割引やメンテナンス持ち込みなど独自のサービスについてはビジネスモデル特許を申請している。

■ コスモビークルリースのシステム



お客様には月々一定のリース料をお支払いいただくだけで、面倒なメンテナンスの管理や税金のお支払いはコスモ石油グループで実施します。

固定価格買取制度 (Feed-in Tariff , FIT)

★再生可能エネルギーの利用を促進することを目的に制定された制度。

★ 既存設備も含め、再生可能エネルギー電力を固定価格(調達価格)で決められた期間(調達期間)電力会社が買い取る仕組み。

★風力発電による発電量の調達価格および調達期間

・区分20kW以上 …… 1kWあたり税込23.10円(税抜22円)、調達期間20年

(出所:経済産業省 資源エネルギー庁 「再生エネルギーの固定価格買取制度」24年7月発表)

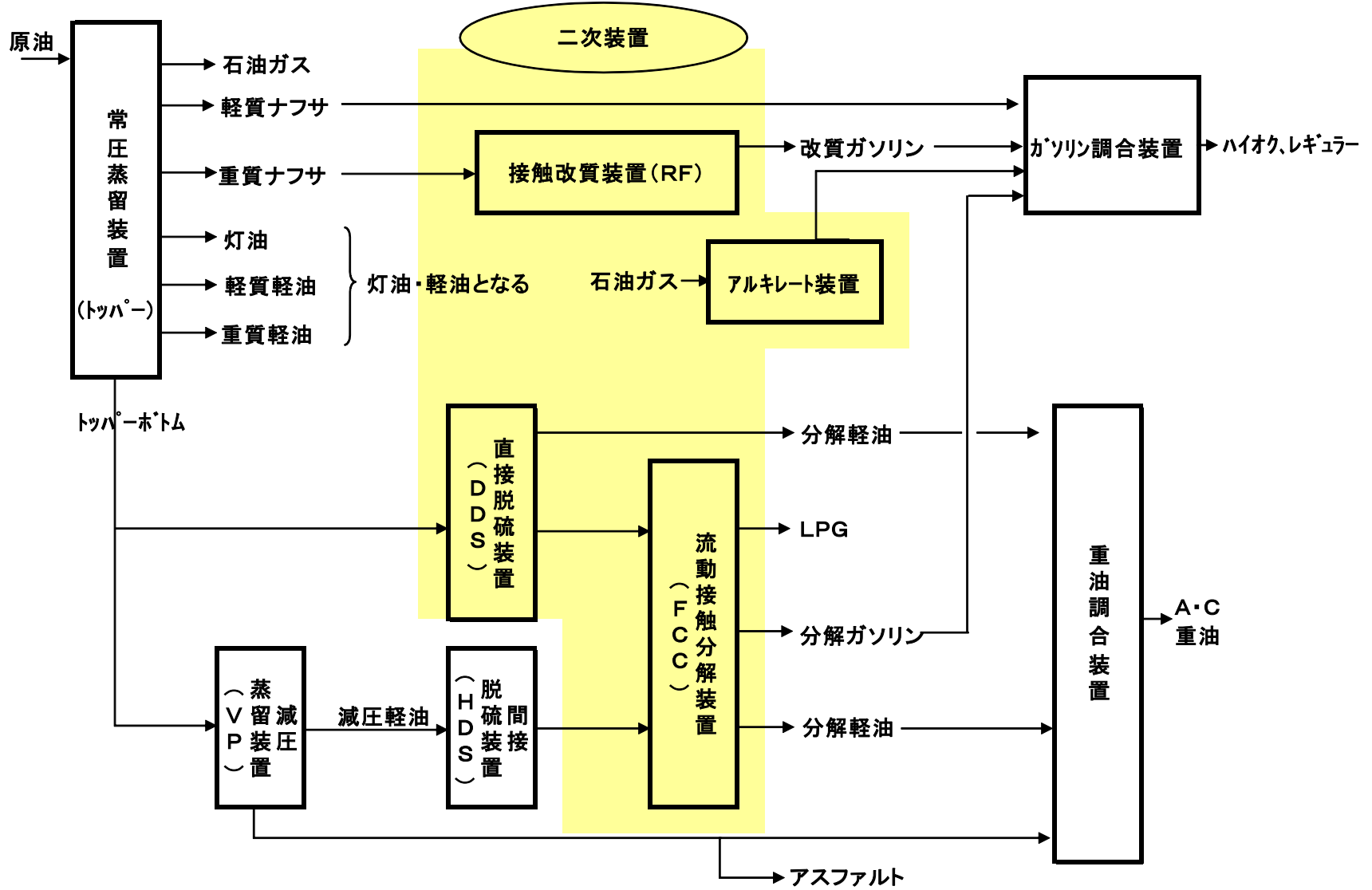


サルファーフリー ガソリン・軽油

★硫黄分が10ppm以下のガソリン・軽油のこと。

重油(直接・間接)脱硫装置

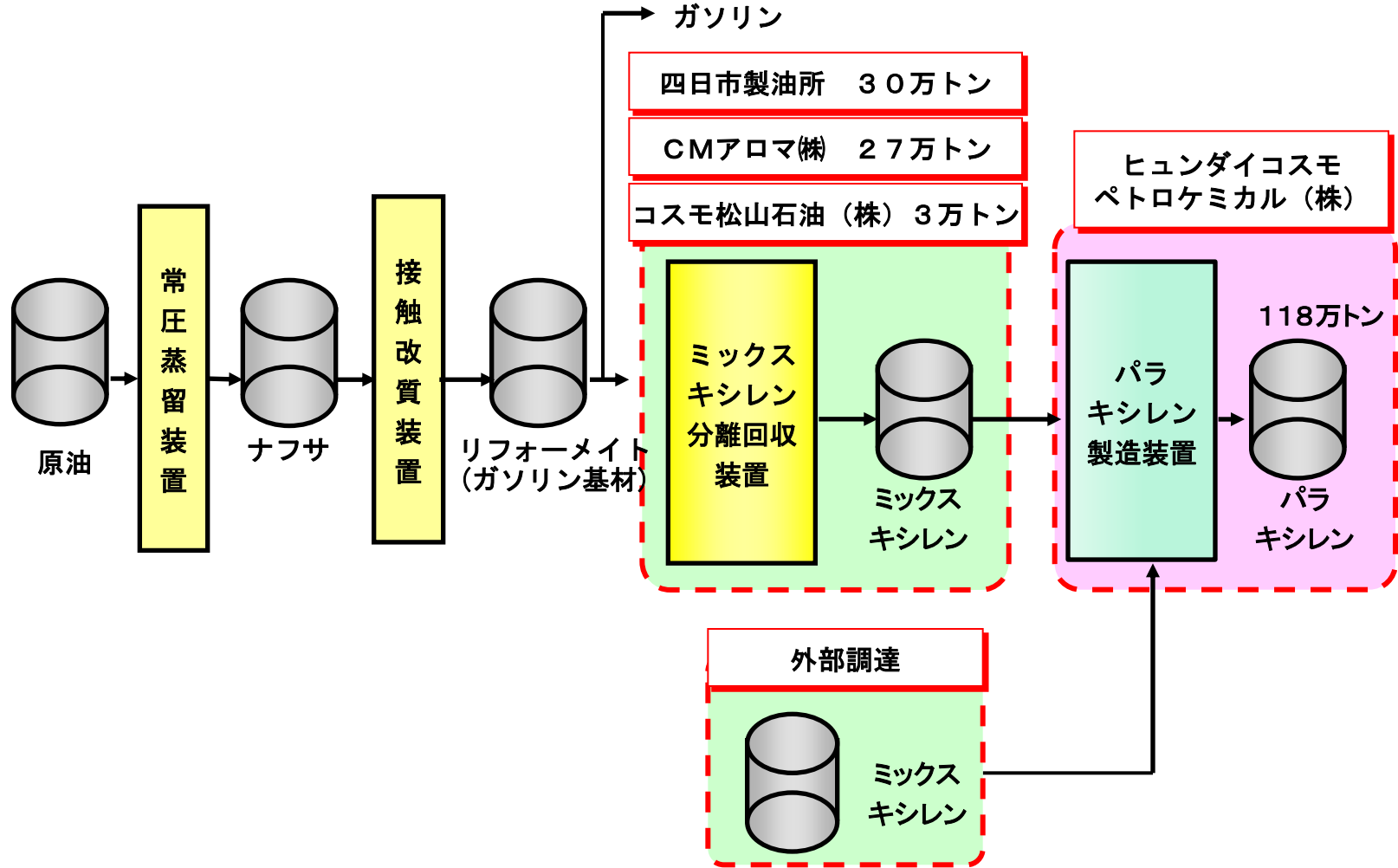
★常圧蒸留装置からのボトム(重油)から硫黄分を回収するための装置。



CM(シー エム) アロマ 株式会社

★丸善石油化学との合併会社で、ミックスキシレンに関する原料調達、製造、貯蔵、販売を行う。

設立：2005年4月1日、資本金：1億円、出資比率：コスモ石油65% 丸善石油化学35%



セプサ社(CEPSA)

★スペインの総合石油会社

Compañía Española de Petróleos, S.A.U. ((カンパニーア・エスパニョーラ・デ・ペトローレオス エス・エー・ユー)

★2014年1月に、コスモ石油とセプサは石油関連事業に関する戦略的包括提携合意契約を締結。

総合エネルギー株式会社

★2012年11月、双日株式会社から双日エネルギーの全株式(双日保有の97.08%)を取得。

2013年2月より、総合エネルギー株式会社に社名を変更。双日エネルギーがもつ多様な仕入れリソース、顧客基盤、人材、ノウハウを取り込み、当社とのシナジー効果を発揮させることで事業強化を図る。

《ロゴマーク》



た

脱硫触媒

- ★脱硫は原料油に含まれる硫黄分(S)に、水素(H)を反応させて、硫化水素(H₂S)の形で取り除くのが一般的。この化学反応を促進させるために触媒が使用される。

直接脱硫装置

- ★重油の水素化脱硫装置の1つ。
- ★触媒の充填された反応塔で常圧蒸留装置(トッパー)の残渣油と水素を高圧高温で反応させ、原料中の硫黄分を硫化水素に変えて脱硫する装置。

トッパー(Topper:Crude Oil Distillation Unit)

- ★蒸圧蒸留装置のこと。一般に製油所の処理能力は、トッパーの一日の処理能力で示される。

は

バイオガソリン

- ★植物を原料とするバイオ燃料は原料である植物が生育する際、光合成によってCO₂を吸収しているため、燃焼によってCO₂を排出しても、大気中のCO₂を増加させない(カーボンニュートラル効果)、環境にやさしい燃料。2010年には石油業界としてETBE(エチル・ターシャリー・ブチル・エーテル。エタノールとイソブテンにより生成される燃料)を84万KLを導入することを決定。

ハウス・カード

- ★コスモ石油が独自に運営する、コスモ系列SSのみで使用可能なコスモ・ザ・カード・ハウスのこと。

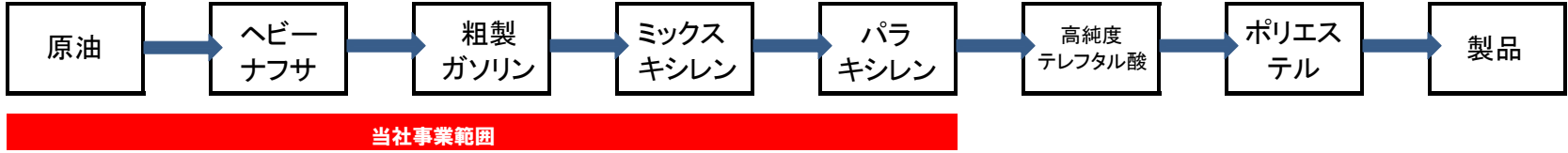
発券枚数

- ★コスモ・ザ・カードの累計発券枚数のこと。脱会者の人数も含む。

パラキシレン(PX)

★ペットボトルやポリエステル繊維などの原料となる芳香族製品。

* 原油から製品までの工程



※ミックスキシレン CMアロマ株式会社の項を参照ください。

※パラキシレン ヒュンダイオイルバンク株式会社・ヒュンダイコスモペトロケミカル株式会社の項を参照ください。

ヒュンダイオイルバンク株式会社(HDO)

★韓国の石油精製・販売会社。1964年設立。原油処理能力390,000BD。

IPICとの共同事業の一環として、2008年4月に当社と石油事業包括協力覚書を締結。2009年6月にパラキシレン事業協業化のための合弁会社(JVC)設立に向けた基本合意書を締結し、同年10月にパラキシレン事業の合弁事業契約を締結。

同年11月に合弁会社(ヒュンダイコスモペトロケミカル株式会社)を設立。

※1 ヒュンダイコスモペトロケミカル株式会社の項を参照ください。

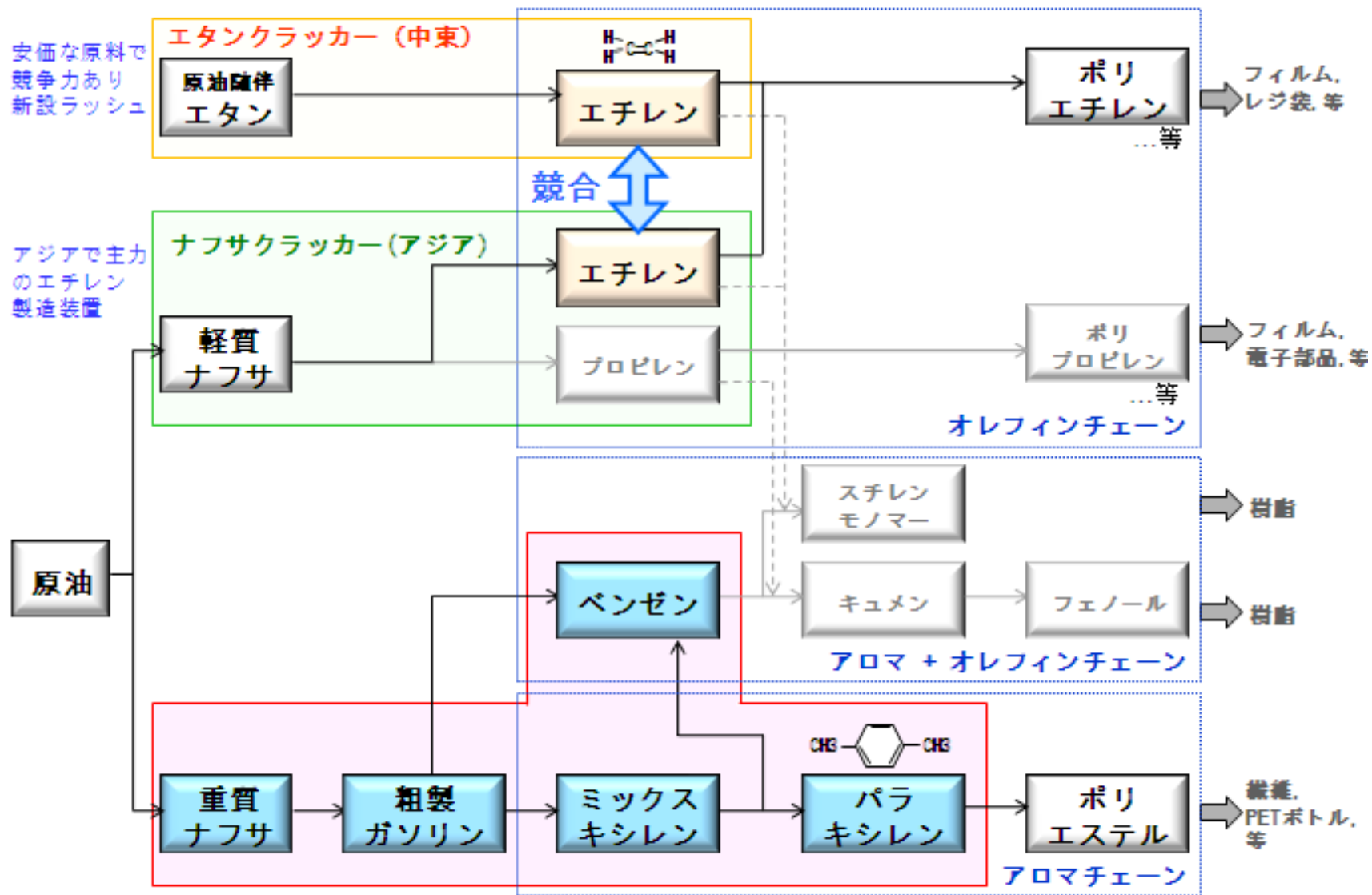
ヒュンダイコスモペトロケミカル株式会社 (HCP) ※HCペトロケムからの名称変更

★2009年11月、ヒュンダイオイルバンク株式会社(HDO)と共に立ち上げた合弁会社。

出資比率は、コスモ:HDO=50:50。2010年2月にHDOより既存のパラキシレン装置(38万t/年)の譲渡を受け生産販売を開始。2013年1月から新設パラキシレン装置(80万t/年)の商業生産を開始し、年間合計118万トンのパラキシレンを生産中。

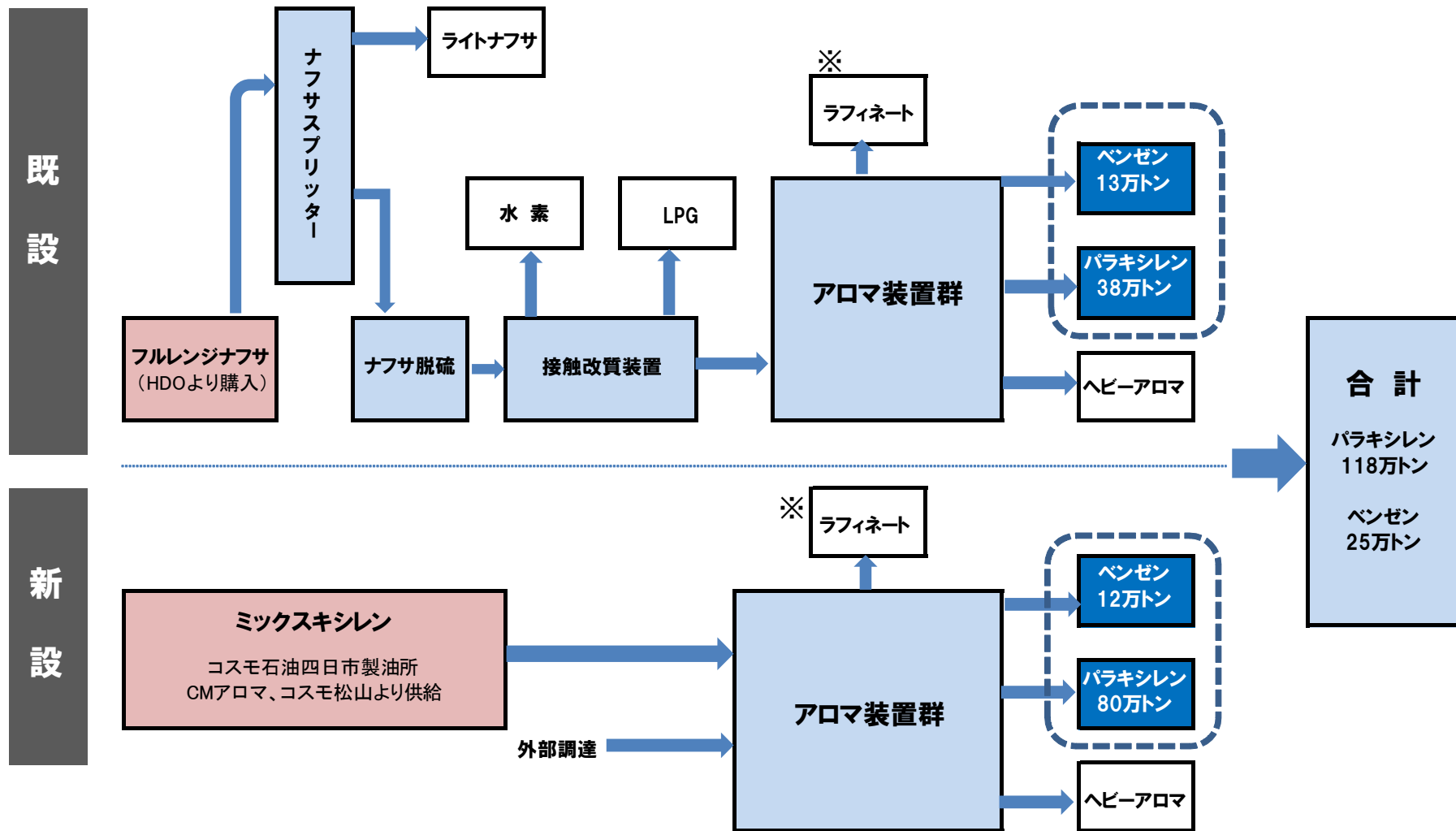
※1 ヒュンダイオイルバンク株式会社(HDO)の項を参照ください。

* オレフィン製品、アロマ製品の製造概念図



部分がヒュンダイコスモペトロケミカル株式会社 (HCP) の取り組み範囲

当該合併事業におけるパラキシレン製造装置構成



※ラフィネート 溶剤抽出の過程において溶剤に溶けずに残る部分の総称

風力発電

※1 エコ・パワー株式会社を参照ください



ミックスキシレン(MX)

★パラキシレンの原材料。パラキシレンの材料となるミックスキシレンは主に石油メーカーの製造する改質油から生産される。
⇒パラキシレンの項を参照ください。



有効枚数

★コスモ・ザ・カードの入会者数から脱会者数を引いた数のこと。
★実質の会員様数。